

企画展

北海道立アイヌ民族文化研究センター
稚内市教育委員会

山田秀三の地名研究から

2011年……稚内

◆ 稚内市立図書館 (稚内市大黒4丁目1-1)

9月16日(金) ▶ 10月16日(日)

● 開館時間 土・日及び9月23日(祝) 10:00～18:00
火～金 10:00～20:00

● 休館日 毎週月曜及び9月29日(木) ※入場無料

◆ 稚内市北方記念館 (稚内市ヤムワッカナイ)

9月17日(土) ▶ 10月30日(日)

● 開館時間 9月 9:00～21:00 / 10月 9:00～17:00

● 休館日 9月は無休 / 10月は毎週月曜休館
(10月10日は開館し、11日休館)

※北方記念館・百年記念塔の入場料が必要です。

(一般・大学生・高校生400円(団体320円)、小学生・中学生200円(団体160円))

関連事業

展示解説講座 9月16日(金) 18:30～20:00

稚内市立図書館

● 講師 北海道立アイヌ民族文化研究センター職員

講演会 9月17日(土) 14:30～17:30

稚内市立図書館

稚内・宗谷からアイヌ文化を考える

● 講師 佐々木利和氏 (北海道大学教授)

佐藤 知己氏 (北海道大学教授)

本田 優子氏 (札幌大学教授)



アイヌ語地名を歩く



地名は、地域の歴史と文化をさまざまなかたちで反映しています。その地域に暮らす人々にとってはもっとも身近な存在の一つであり、その地域を訪れる人々にとっては地域を知り、親しむ手引きにもなります。

北海道の地名の多くは、アイヌ語に由来しています。これらのアイヌ語地名について知ることは、それぞれの地域を通してアイヌの歴史と文化を知ることとなります。

当研究センターが所蔵する「山田秀三文庫」は、アイヌ語地名研究の第一人者である山田秀三氏(1899～1992年)が遺した、アイヌ語地名に関する他に類を見ない貴重な資料であり、各地の地名に関する資料が豊富に含まれています。

この展示では、山田秀三文庫の資料から、稚内市とその周辺(宗谷地方)を中心に、山田氏が用いた地図、現地で撮影した写真、それらをまとめた記録などを紹介しながら、山田氏の地名調査のあとをたどっていきます。

また、同じく当研究センターが所蔵する、アイヌ語アイヌ文化研究者・久保寺逸彦氏(1902～1971)が遺した資料の中から、稚内とゆかりの深い、サハリン(樺太)での写真などの調査記録もあわせて紹介します。

期間中には、展示解説の講座や、アイヌの歴史と文化に関する講演会も開催します。多くの皆様のご来場を、心よりお待ちしております。



稚内市北方記念館

(稚内市ヤムワッカナイ(稚内公園内))

● 開館時間 9月 9:00～21:00
10月 9:00～17:00

● 休館日 9月は無休
10月は毎週月曜休館
(10月10日は開館し、11日休館)

● 北方記念館・百年記念塔の入場料が必要です。
一般・大学生・高校生 400円
(夜18時以降入館の場合は200円)
小学生・中学生 200円(同100円)

団体(20名以上)は、
一般・大学生・高校生 320円
(夜18時以降入館の場合は160円)
小学生・中学生 160円(同80円)



稚内市立図書館

(稚内市大黒4丁目1-1(南稚内駅から徒歩約10分))

● 開館時間 土・日及び9月23日(祝)
10:00～18:00
火～金 10:00～20:00

● 休館日 毎週月曜及び9月29日(木)

※入場無料

*写真上左: 地理調査所(現国土地理院)5万分の1地形図「知来別」[宗谷郡]「宗谷」[稚内]を貼り合わせ、山田秀三が文庫上の地名や現地調査の記録などを書き込んだもの(一部)。(北海道立アイヌ民族文化研究センター所蔵山田秀三文庫[YF0030-01-02])

*写真右: 室蘭・チャップナイの海岸に立つ山田秀三(1960年2月撮影)。(山田秀三文庫[YP1305-008-19])

*写真下左: 山田秀三の地名調査記録より。浜頓別市街付近を描いた自筆の地図。(山田秀三文庫[YF0034])

*写真下右: 山田秀三の地名調査記録より。豊富町サロベツ原野から稚内内に向かう途中の「ルンシ」の写真。(山田秀三文庫[YF0028])